



美里町
議会だより

きらり

第17号

令和5年5月1日



未来につなぐ歩道橋

ついに完成!



- 令和5年度当初予算を可決!P2
一般質問5名が登壇!P5~9
委員会活動報告.....P10
特集 囑託会との意見交換会開催!! ...P11

私たちの誇り、歴史ある霊台橋。
そこに念願の歩道橋がこの3月に完成し、美里町の豊かな将来のための大きな一歩となりました。植栽されたばかりの桜の若木に早くも花が咲き、霊台橋は訪れる多くの人を待っているようです。

小さくても キラリと光る 私たちのまち

令和5年第1回定例会

定例会は3月7日（火）から10日（金）までの4日間の会期で開催された。

今回提案された町長提出の案件は、条例10件、補正予算関係6件、当初予算関係7件、その他12件など35件。審議の上、全議案可決・同意した。

一般質問には、5人の議員が登壇し活発な議論が交わされた。

町長の施政方針概要

新型コロナウイルス感染症の発生から3年が経過する中、町の施策として「物価高騰対策」「子育て支援」「マイナンバーカード取得促進」など、住民生活を重点におき、取り組んできました。

本年度は、水道未普及地域の安全な水道水の供給に向けた取り組みと共に「**保育料の完全無償化**」「**小中学校給食費の半額補助**」「**町独自に行う出産子育て応援給付金の上乗せ・拡充**」など、美里町で安心して子どもを産み、安心して子育てができるよう取り組んでまいります。

第2次振興計画で示す施策を着実にすすめ「オール美里」で町民一人ひとりが幸せに暮らせる町づくりを進めてまいります。

令和5年度当初予算

区 分		令和5年度	令和4年度	比較増減
一 般 会 計		69億4700万円	70億5500万円	▲1億800万円
特 別 会 計	国民健康保険	14億3644万円	14億2184万円	1460万円
	土地取得	2000円	2000円	0
	介護保険	20億5700万円	20億5202万円	498万円
	生活排水	2億0605万円	1億8923万円	1682万円
	後期高齢者医療	1億8310万円	1億7890万円	420万円
	簡易水道事業	3億3064万円	1億8843万円	1億4221万円

一般会計当初予算の特徴

令和5年度の一般会計当初予算は、69億4700万円で昨年と比較すると、1億800万円の減額となった。歳入では、新型コロナウイルス感染症対応の交付金等の削減により、国庫補助金が減額となった。自主財源比率も20.8%と低い水準のままである。歳出では、町営住宅改修工事等の費用が減り減額となった。

●主な事業

事業名	金額	内 容
文書管理及び庶務事務電子決裁システム導入委託料	1527万円	文書管理及び庶務事務関係のシステムを導入する
ホームページ作成業務委託料	800万円	町のホームページを更新する
公金ステーション購入費	1365万円	両庁舎に、会計課を通さずに自動で払い込み出来る機械を設置する
セミセルフレジ購入費	993万円	両庁舎と東部出張所の3ヶ所に設置し、職員が対面で処理する機器の導入
両庁舎電気自動車用充電設備設置工事	166万円	役場の電気自動車用の充電設備
有安地区旧工場跡地調査業務委託料	2017万円	跡地の活用に備えて、地質調査を行う
コンビニ交付システム導入改修委託料	863万円	コンビニで書類の交付申請ができる
出産・子育て応援給付金	375万円	国の給付に町独自で、それぞれ2万5千円ずつ上乗せ給付をする
給食費補助金	1213万円	小・中学校給食費の半額補助をする
スクールバス購入費	983万円	低用小学校のスクールバスを更新する

令和5年第1回定例会

〈質疑〉

●令和5年度一般会計予算

【福田議員】eスポーツでいい里づくり事業は、高齢者の認知症予防やこどものプログラミングなどに先駆けて取り組んでいる。もっと取り組みを広げられないか。

【谷口福祉課長】4年度は9地区で取り組んだ。5年度は15地区に増やしたい。

【上田町長】高齢者への取り組みは町独自のもの。認知症予防の取り組みとして検証し結果を出したい。

【今田議員】文書管理及び庶務事務・電子決裁システム導入委託料の内容を問う。

【坂村総務課長】現行の紙媒体での文書管理を一部ペーパーレス化して、押印せずに電子決裁ができるものとする。また庶務事務については、職員の年休取得や時間外勤務届関係の事務のシステムを導入し、業務の効率化を図ることが目的である。

【今田議員】防犯灯設置工事の予定地は。

【坂村総務課長】国道443号線の中から椿地区まで、5基。国道218号線の南栄木材から、ゆき

ぞの学園までの付近に10基を設置する予定である。

【平野議員】マイナンバーカードの交付率が「デジタル田園都市国家構想推進交付金」交付に何らかの影響があったのか。

【坂村総務課長】DX推進計画事業に対して半額が補助されるもので、今回の交付金に影響はない。マイナンバーカードの交付率上位1/3の自治体には、普通交付税が割り増しで交付されるが、美里町は上位1/3に入っていない。

【平野議員】証明書等のコンビニ交付事業が始まるが、証明書受け取り時の手数料は設定されているのか。また、交付時にはマイナンバーカードが必要なのか。

【松永住民課長】手数料についてはこれから検討する。証明書等をコンビニ交付で受けるにはマイナンバーカードが必要である。

【平野議員】小中学校の給食費に対する補助が全額ではなく半額（12、131千円）になった経緯は。

【上田町長】令和5年度は物価高騰対策給食費補助金（4、719千円）も計上している。財源の問題もあり、まずは半額からという事である。

【限部議員】有安地区旧工場跡地調査を、初めに行った解体用地質

調査で汚染土（油）等の物質は確認出来なかったのか。また、確認されていた場合は、後の工事費を軽減できなかったのか。

【上田町長】前回行ったのは建物解体のための設計委託である。今回は更地にした後、当該用地を売却するための準備として敷地全体の地質調査等を行うものである。

●有安地区旧工場跡地解体請負工事契約の一部変更

【福田議員】埋設廃棄物約650トン、県外でしか処分できないものと県内でも処分できるものもあるのではないかと。

【松岡企画情報課長】廃棄物の処理については搬送から処理まで区分ごとに十分積算して予定額を算出している。

●美里町企業振興促進条例の一部を改正する条例の制定

【濱田議員】企業用地取得奨励金5、000万円の交付制定であるが、農地を含む土地が考えられるが、殆どの農地で農振地域に指定されている。どの様な場所を検討されているのか。

【上田町長】新年度の予算で、農振を今後しっかり見直していくための委託料を組んでいる。いろんな観点から見直しをかけていきたいと考えている。

●令和4年度一般会計補正予算（第13号）

一般会計の補正（第13号）は、2億7,748万4千円を減額し、総額79億6,817万6千円となった。事業の実績による減額がほとんどであったが、増額した主な事業は下記のとおり。

主な事業	金額	内容
マイナンバーカード取得促進給付金	700万円	取得を促進するため、1人当たり5,000円を給付
宇城広域連合負担金（清掃施設費）	4,485万円	燃料費高騰等による増額
農地利用効率化等支援交付金	364万円	共同農機具等の導入補助
社会資本整備総合交付金	780万円	道路新設改良費（町道鳥越線外工事請負費）

第1回臨時会

1月26日(木)

1 美里町総合交流ターミナル条例の一部を改正する条例の制定について

2 令和4年度美里町一般会計補正予算(第11号)

3 町営住宅八幡団地改修工事(5・6・7号棟)請負契約の締結について

第2回臨時会

2月20日(月)

1 令和4年度美里町一般会計補正予算(第12号)

有安地区旧工場跡地解体工事2、500万円

条例の制定

●美里町老人福祉センター条例の一部を改正する条例

町直営での施設管理ができるよう改正したため制定

●美里町国民健康保険条例の一部を改正する条例

出産育児一時金の支給額、「40万8千円」を「48万8千円」に改める。

●美里町企業振興促進条例の一部を改正する条例

(企業用地取得奨励金) 土地取得価格の100分の50(上限5、000万円)を交付する。

●美里町個人情報保護法施行条例

●美里町個人情報保護審議会施行条例

●個人情報保護の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例

●美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●美里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●美里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を

定める条例の一部を改正する条例

●美里町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

契約の変更

●有安地区旧工業跡地解体工事請負契約の一部変更

契約金額「91、450、700円」を「124、293、002円」に変更する。

議員発議条例の制定

●美里町議会委員会条例の一部を改正する条例

●美里町議会の個人情報保護に関する条例

同意案件

美里町職員懲戒審査委員会の委員の選任

○鷺山 啓 氏(土喰)(継続)

○上田隆信 氏(三加)(継続)

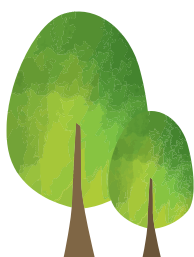
○松永栄作 氏(土喰)(継続)

全国町村議会 議長会表彰



福田秀憲議員

27年間の長きにわたり町議会議員として美里町の発展にご尽力された福田秀憲議員に、全国町村議会議長会表彰が伝達されました。



一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。一人60分以内の時間制限内であれば質問の回数に制限はありません。議会日よりでは、紙面の都合で質問と答弁が要約してあります。

今回は5人の議員が登壇し町政について問いました。

駅伝大会への取り組みは！



平野 保弘 議員

教育長

各支部が参加しやすいように 要項を協議する



200年の歴史ある雄亀滝橋

（上田町長）美里町には石橋愛好会があり、石橋の保存等にご尽力をいただいている。雄亀滝橋が完成して200年を経過しているが、出来ていなかった

（宮崎教育長）石橋については、国指定の霊台橋・県指定の雄亀滝橋ともに、整備後は文化財保存検討委員会からの意見を伺い、地域住民の方々のご協力を頂きながら維持している。他の町指定の石橋についても毎年劣化状況などを確認し、地域ボランティア団体へ清掃をお願いし、維持している。しかし、周辺環境を含めた季節ごとの管理が十分に出来ていない部分も見受けられ、今後の課題となっている。なお、本町の歴史や当時の状況を学ぶ教材として各小中学校への出前講座での活用や、歴史探訪講座等社会教育の教材としても活用している。

（宮崎教育長）移行にあたっての課題となるのは、まずは指導者の確保だと思っている。現在ある部活動の種目協会と連携し指導できる人材の発掘・育成を進める必要がある。学校の先生方にも地域活動として協力していただくことも考える必要がある。

次に部員の確保も今後の課題である。部活動がなくなるので町外のクラブチームに加入するという動きにならないよう、出来るだけ多くの生徒が部活動に入り、その部員が休日に地域移行して活動する。スムーズな移行が出来る様に保護者へ周知していく。

（問）石橋をはじめとする文化財の保護と活用についてどのように考えているか。

●新教育長の教育行政執行方針について

（宮崎教育長）「美里町駅伝競走大会」「美里町新春霊台橋マラソン大会」の今後の運営方針についてどのように考えているか。

（宮崎教育長）「美里町駅伝競走大会」については新型コロナウイルス感染拡大により令和2年度から3年間開催できていない状況だが、本年度はその影響よりも選手の確保が困難で参加できない支部があったことがその要因のようだ。町スポーツ協会では、各支部が参加しやすいように選手区分の緩和や区間数の減、コース、開催時期等の検討を行っている。できるだけ早く各支部に提案し、協議をいただき要項を決定しようと思っている。

「美里町新春霊台橋マラソン大会」については、教育委員会外部評価委員会や一部の関係者から、元日の開催が運営スタッフの負担になっており日程変更や内容検討が必要との意見がある。現状としては町外からの参加者が多く町のPRの場にもなっており、引き続き元日開催を望む声が多い。しかし、町民の健康づくりや走力・体力の向上を図るために町民が参加しやすい日程、参加者へのおもてなしや走る以外にも美里を満喫できる対応を図るという事を考えた時、大会のあり方を検討している。これまでも歩み寄り、大会の方向性を模索していきたい。

その他の質問

- （問）児童・生徒の学力向上対策についてこれまでの取り組みをどのように評価しているか。
- （問）中学校の統合問題についてどのように考えているか。

機構改革で期待される成果とは！



高田美千子 議員

町長

効率化と住民サービスの向上を。

●町の機構改革について

(問) 機構改革への期待と町長の意気込みは。

(上田町長) 業務の効率化と住民サービスの向上が期待できる。令和5年度から10年計画で取り組む中央北地区簡易水道事業は、総事業費30億円の大事業である。上下水道課を中央庁舎に配置し迅速・効率的に事業を推進する。美しい里創生課は、わくわくする企画・観光政策で移住者増、交流人口増を図る。

森づくり推進課は、美里の山を後世につなぎ公益的施策を実行する為に、自伐型林業の推進に取り組む。1+1=2でなく3、4になるように町の発展に励み、アフターコロナの町づくりにつなげたい。

(問) 住民サービスの支障になるような課題への対策は。

(坂村総務課長) 低用庁舎から中央庁舎に移動する課や係への問い合わせには、両庁舎をつなぐ「テレビ会議システム」を導入して、直接担当者と話せるように対応する。各種申請や書類提出はこれまで通りであり、住民サービスが低下しないようにこれからも配慮する。

(問) 社協の事務所と地域包括支援センターが低用庁舎に移転するが、相談者が相談に訪れにくくなるのではないかと。

(坂村総務課長) 低用庁舎には2か所の相談室があり、プライバシーや人目を気にせず個別の相談に利用できる。必要があれば、他の会議室での相談対応も出来ると考えている。

(問) 機構改革について、町内全域への周知はどうなっているのか。

(坂村総務課長) 広報みさとで、課名の変更・各課の配置図・担当業務の内

容、と各号で順次周知を図っている。4月以降に町政座談会を実施し詳しい説明と、意見の聴取を計画している。課・係の引越越しに伴い防災無線等で周知を図っていく。

●美里町老人福祉センターの今後の活用について

(問) 施設の改修調査結果に基づく改修費用は。

(谷口福祉課長) 築後30年を経過し、経年劣化による設備の不具合や雨漏りが生じている。大規模改修の場合、費用が約3億7千万円、工期5か月間を要する見込み。解体・改築の場合、費用が約5億5千万円、工期1年間を要すると見込まれる。なお、地盤改良や外構工事費が別途必要となる。

(問) 移転後の改修規模と改修計画は。

(谷口福祉課長) 現在、湯の香苑で実施しているデイサービス、老人福祉センターで行えるように設備等の改修規模と費用面の検討を進めている。なお、多額な費用をかけず必要な区域の空調設備や入浴設備等、最小限度での改修を検討中である。令和5年度の早い時期での改修を目指したい。

(問) 様々な活動の拠点となる、総合コミュニティスペースとしての利用が出来ないか。

(谷口福祉課長) 町の条例で、「利用者の範囲」が規定されているが、福祉センターの事業に支障がなければ利用できる。様々な活動の拠点として継続し、たすけ合える空間を設ける事は困難だが、いろいろな世



改修が必要な美里町老人福祉センター

代の団体の会合や活動に大集会室や和室を利用してほしい。事務所移転後の空きスペースの活用については、まだ具体的な検討は行っていない。

●美しい里の環境整備について

(問) 国道や幹線道路沿いの不法投棄のごみ対策に、町はどう取り組まれているか。

(安達水道衛生課長) 重点ポイントを週に一回、職員が定期パトロールをしており、緊急的に道路のごみ拾いも実施している。

(問) 定期的に町内一斉ゴミ拾い美化作業やゴミ拾いボランティアの育成は出来ないか。

(安達水道衛生課長) 町内一斉のごみ拾い美化作業として、4月29日の「緑川の日一斉清掃」。6月の第一日曜日の「環境美化行動の日」の取り組みを行っている。

今後は、年2回だけでなく、楽しく参加しやすい企画を検討したい。又、ボランティアでゴミ拾いをされる方にはゴミ袋の提供と、集めたごみの処理費用の減免等を支援している。これらの活動の継続を図り環境美化に取り組みボランティアの育成につないでいきたい。

その他の質問

- 美里町老人福祉センターについて
 - ・地域に開放する等の今後の活用の構想は。
 - ・防災面の安全の確保をどうされるのか。
- 美しい里の環境整備について
 - ・道の里親活動の現在は。
 - ・ポイ捨て禁止条例や監視カメラ、看板設置などの対策があるが、美里町におけるポイ捨て予防策は。

消防団員の減少に対する対策は



吉住 淳一 議員

町長

団員の意見を取り入れ検討していく



放水競技（原町）

●今後の消防団運営について

（問）令和4年度の団員数はどう推移しているか。

（総務課長）令和4年度は289名で2名増となったが令和5年度は270名となり減少傾向である。

（問）機能別分団（団編成）についての考えは。

（町長）団員減少に伴い分団によっては対応が難しくなっているのは承知している。意見を聞きながら方向性を模索していきたい。

（問）子ども達への防災教育の現状は。

（教育長）小中学校では地震避難訓練、豪雨災害、火災避難訓練を毎年2回から4回実施している。また保護者にも参加頂き避難経路の確認等を行っている。また防災についての学習は文科省からの資料を始め県が作成した熊本地震を基にした手引きを活用し行われている。

（問）地域に根付いている消防団との合同訓練はできないか。

（教育長）すべての学校から地域と連携した訓練を実施したいとの回答があった。今後関係機関と連携して実施できればと考えている。また幼年消防（幼稚園・保育園）においても正式会員になることで助成が受けられること

から防災教育の推進に資するものと考え。今後も支援を行っていききたい。

●自主防災組織の活動と防災士の資格取得状況について

（問）自主防災組織の活動状況は。

（総務課長）令和4年度までに61組が設立済である。今後町の基本計画の目標値である86組を目指していく。活動としては災害発生時の避難方法や地区住民の安否情報把握のための取り組みも行われている。一方で地区におかれた様々な条件や事情により活動の停滞がみられる組織もある。今後町の訓練等に参加を模索していきたい。

（問）防災士の資格取得と要請状況は。

（総務課長）現在の資格取得者は17名である。要請等は行っていないが資格取得を希望される方には補助する事業を行っている。今後も意見交換や勉強会を実施し活発化させていきたい。

●鳥獣被害防止対策の現状について

（問）令和4年度の捕獲数と被害状況は。

（西寺経済課長）令和4年度の捕獲実績は2月10日時点でイノシシ889頭、シカ461頭などとなっている。被害面積は令和3年度の実績として被害面積1・8haで被害金額は375万円が目撃値より減少しているが令和4年度は捕獲数が多く、継続して防除に努めていきたい。

（問）被害防止対策への今後の取り組みは。

（西寺経済課長）町では平成21年に「美里町鳥獣被害防止対策協議会」を設置し国の補助事業を活用しながら進めている。今後も集落での話し合いを通して点検の実施やマップを作成し対策の「見える化」を図り有害獣が住みにくい環境を作ることが重要だと考える。

（問）被害防止対策に町が助成している内容は。

（西寺経済課長）町の単独補助については農地に設置する「侵入防止柵」や「捕獲罠」の購入費や狩猟免許取得のための費用について交付要綱に基づいて交付している。令和5年度においては生息域の拡大により更に深刻化が懸念されるため補助率を2分の1に高上げし捕獲罠の上限額を1基につき5万円とすることで予算を計上した。

（問）捕獲により報奨金が支払われているがそれぞれの内訳はどうなっているのか。

（西寺経済課長）それぞれ1頭当たりの単価はイノシシが親、子ともに1万円、シカについても1万円を交付している。シカについては成獣のみが対象となっており幼獣に対しては交付していない状況である。しかし捕獲数が多いことから今後幼獣に対しても検討が必要だと思っている。

（問）捕獲対象鳥獣の食品としての利用は。

（町長）現在美里町を含む18市町村で御船町の食肉加工工場内に大型のジビエ処理施設建設する計画が持ち上がっている。しかし課題が多く具体的な時期や建設の有無まで進んでいない。搬入体制や捕獲者による直接の持ち込みが困難であるのと猟友会等で保冷車の管理が出来ないなどの理由がある。山都町では加工処理施設を平成29年から稼働しているが捕獲頭数からするとジビエとして活用できるのは1割程度であり処分についても個人に任せている状況である。必要との認識はあるが苦慮しているとのことで今後も検討はしていきたい。

子育て支援の充実を！



今田 政行 議員

●人口減少対策について

(問) 人口減少が続く中、5年後、10年後の町政に向けてどのように導かれるのか。

(上田町長) 第2次振興計画を軸に調整を進める。協働の町づくり、健康福祉の町づくり、教育文化の町づくり、農業観光の町づくり、住み良く快適な町づくりの5つを基本目標に将来像である「小さくてもキラリと光る私たちのまち、やさしさと対話のまち」の実現を目指す。

(問) 今後の子育て支援策についての考えは。

(上田町長) 町でも子育て支援政策に取り組んできたが、新年度予算案にて新たな子育て支援策として3つの提案をする。

①0、2歳児の保育料の無償化を提案。幼児教育、保育の完全無償化となる。

②現在給付されている、出産応援給付金、子育て応援給付金に加え、町独自でそれぞれ2・5万円を追加給付する。出産直後からの経済的負担の軽減を図る。

③小中学校給食費の半額補助。子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。

引き続き、美里町で子育てしたいと思われよう、環境の整備に努める。

(問) 「美里町子育てガイドブック」の活用はされているのか。

(中川健康保険課長) 「美里町子育てガイドブック」については、子どもが生まれる前から18歳の期間において子育てステージに応じた、子育てに関する支援や障がい福祉サービスなど、子育て支援を担う関係課が所管する支援メニューを1冊に集約したガイドブック

となっている。現在は、このガイドブックを妊娠届出に來られた保護者の方へ配布し、町の子育て支援メニューについて内容を紹介し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりに取り組んでいる。

(問) 条例改正等で変更が生じた場合、ガイドブックは年度ごとに変更されているのか。

(中川健康保険課長) 国の子育て支援に関する制度改正が毎年されており、ガイドブックの変更作成は進んでいない状況となっている。このため、ガイドブックに記載のない情報については、別途チラシを作成し配布している。なお、広報紙やホームページでも発信に努め、安心して子育てができる環境の整備に努めたい。



町の子育てガイドブック

(問) 住環境整備において、町営住宅の建て替え並びに若者向けの住宅をPP事業またはPFI事業で対応できないか。

(上田町長) 対応年数を経過した団地の活用方法として、長寿命化を図る修繕や統合建替えを検討する必要がある。町の財政状況等を勘案しながら今後計画して行きたい。

併せて、若者世代の定住や移住者の受け入れ先として、「地域優良賃貸住宅整備事業」なども考慮しながら、P

PP事業、PFI事業の導入も検討して行きたい。

(問) 企業誘致について町長のお考えは。

(上田町長) 企業誘致は、人口減少対策の重要な施策の一つとして認識している。

美里町にはすぐに用意できる「有安地区産業用地」があり、候補の一つに充分なり得ると期待している。企業誘致の呼び水となる、優遇措置として美里町企業立地促進条例の改正を上げし、さらに農振除外の要件緩和についても県に要望して行く。引き続き様々な策を考え企業誘致に取り組む。

(問) 学校統合についての再検討はされないのか。

(上田町長) 近年の出生数を見ると、将来の学校運営並びに授業の在り方に大きな影響が出てくることを危惧している。学校は子どもと同様地域の宝であり、その現状を変更するには地域の理解が重要である。条件を設けずに、まっさらの状態で児童生徒、保護者の方々あるいは、今後保護者になられる方々の話をしっかり聞かせて頂き、その上でどの方向が子どもたちにとって良いのか、多くの方々を巻き込みながら慎重に進めて行く。

その他の質問

◎農業振興について

- ①遊休農地防止の観点から農業経営を営む法人組織の組織づくりは出来ないか。(集落営農含む)
- ②農業を職業としての移住定住の実績はあるか。
- ③米価下落の中、農家所得が減少しているが、水稻共済掛金・収入保険掛金への助成は出来ないか。

今年度予算の重点は



坂田 直義 議員

町長

子育て支援強化、給食費半額補助

●新年度の町予算について

(問) 今年度の施策の重点は何か。

(上田町長)

①水道未普及地域の解消に向けた上水道の整備 ②町独自で0〜2歳児の保育の無償化による保育料の完全無償化 ③小中学校給食費の半額補助 ④国の「出産、子育て応援給付金」に町独自で25000円上乗せ ⑤公金の支払い専用の機械、公金ステーション、セミセルフレジの導入

⑥コンビニでの各種証明書の交付などを重点に従来の「物価高騰対策」「子育て支援」「マイナンバーカード取得促進」に加えて進めていく

(問) 地方財政計画の収支の特徴は何か。

(坂村総務課長)

地方交付税は前年度比73,000千円増の33億994万円。逆に臨時財政対策債は前年度比72,147千円減の2385万円となっている。歳出の主なもの「地域のデジタル化の推進」「脱炭素化の推進」「物価高騰への対応」等14項目が重点項目として挙げられている。地域のデジタル化についてはマイナンバー

利用特別分として500億円増額することとなっている。又地域の脱炭素化についてはグリーントランスフォーメーション(GX)の実現に向けて再生エネルギーや電気自動車の導入等公共施設等の脱炭素化の取り組みを計画的に実施できるよう「脱炭素化推進事業費」を創設。3つ目の「物価高騰対策」は公共施設等の光熱費の高騰を踏まえ一般行政経費に700億円増額する。

(問) 自伐型林業の今年度の重点は何か。

(高田林務観光課長)

自伐型林業のスキルアップ研修を継続し、芳の谷町有林を地域おこし協力隊はじめ林業関係の研修場として活用し次世代へ繋がるよう取り組み。また森林環境譲与税の配分率の見直しを進める。

●DX(トランスフォーメーション)計画について

(問) 地方創生推進費はどう使うのか。

(坂村総務課長)

平成28年度より産業連携の推進事業に活用しており、令和2年度からは「恋人の聖地」観光誘客連携による地域活性化事業、令和4年度からは「緑川を中心に地域資源を活かした活性化プロジェクト事業」、今年度もこれまでの取り組みを発展させた取り組みを実施する。

(問) 町のDX計画の重点と推進体制はどうなるか。

(坂村総務課長)

このDX推進計画の基本方針として「デジタル活用による住民サービスの向上」「地域デジタル化の推進」「行政内部のデジタル化の推進」の3つを掲げています。

1について、①各種証明書のコンビニ交付の導入 ②問い合わせ対応のデジタル化 ③テレビ電話システムの導入 2についてはスマートフォン講習会、学校ICT教育の充実を引き続き実施 3について業務効率化につながるシステムの導入を検討。

推進体制としては町長等3役管理職で構成される「美里町DX推進本部会

その他の質問

◎GX(グリーントランスフォーメーション)計画について

(問) 町のGX計画はどうか。何に重点を置くのか。

(問) 脱炭素化推進事業費の使途は。

◎地方財政計画のその他の重点項目について

(問) 公共施設の光熱費の増の見込みと対策はどうか。

(問) 緊急防災、減災事業(対象事業の追加等)の計画は。

(問) 地域のデジタルグリーン化などの人材育成はどうか。



ペーパーレス研修会

議」を置き職員によるワーキンググループ、専門的知見をもつ外部人材の活用や内部人材育成も強化していく。

(問) 地域デジタル社会推進費はどのような事業になるか。

(坂村総務課長) 「地域デジタル」の推進事業を推進する。

委員会活動報告

委員会及び現地調査（3月9日）

令和5年度一般会計当初予算を審議

総務文教常任委員会

委員長 濱田憲治 副委員長 福田秀憲
委員 上田 孝 吉住淳一 村崎公一

【総務課】

「歳入」
・「地方交付税」令和5年度の歳入予算の約半分のを占めている

・「デジタル田園都市国家構想推進交付金」両庁のテレビ会議システム機器・公金ステーション・セミセルフ・コンビニ交付システムへの充当

【企画情報課】

「歳出」

・「有安地区旧工場跡地調査業務委託料」解体後の土壌調査

【税務課】

・町税の収納、町民税98%、軽自動車税98・5%、滞納繰越分30%で計上

【住民課】

・マイナンバーカードの交付率、2月末で県下30位の62・81%

【会計課】

「歳出」
・「公金ステーション購入費」及び「セミセルフレジ購入費」機器の導入



設置予定の公金ステーション

【学校教育課】

「歳出」
・「未来を創るふるさと教育

事業委託料」新規事業テレビ局と連携し中学生が町のCMづくり（30秒）を通してふるさとをの良さを実感する事業

・「スクールバス購入費」1台を新規に購入予定
・「修繕料（中央中・学校教育係）」地域に開かれた図書室にする。2階にある図書室を1階に移し、中庭の花壇を撤去し駐車場の整備

【社会教育課】

「歳出」

・「霊台橋保存工事記録写真デジタル化」昭和53年～55年に行われた霊台橋の調査工事及び保存修理工事において撮影された当時の記録写真を工事を後世に残すためにデジタル化する事業

【現地調査】

○中央公民館「中央公民館駐車場舗装工事」令和5年度事業

○緑川ダム「熊本県企業局緑川発電所」※県支出金
発電設備の更新により、発電量の増加で「熊本県企業局水力発電所地元振興支援事業交付金」の増額も検討されている（学校給食費に充当予定）

○低用中学校「低用中学校グラウンド防球ネット修繕」令和5年度事業

○中央小学校「中央小学校給水装置取替工事」令和5年度事業

事業

産業厚生常任委員会

委員長 坂田竜義 副委員長 高田美千子
委員 今田政行 隈部 寛 平野保弘

【福祉課】

介護基盤緊急整備特別対策事業補助金4718万円 地域福祉計画等策定業務委託料726万円 障がい者基本計画等策定業務委託料583万円 出産子育て応援給付金 375万円 等について説明があり、児童手当、障がい者団体補助などについて質疑を行う。

【健康保険課】

繰出金（国民健康保険）1億761万円 後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金等2億2504万円、繰出金（後期高齢者医療特別会計）7294万円 子ども医療費扶助2335万円 予防接種委託料等2510万円等について説明。

【経済課】

中山間地域等直接支払交付金 825万円 鳥獣被害防止対策関係1600万円 農業用機械導入補助金1300万円 農地等整備1200万円 萱野揚水機場改修2000万円 農業農村整備事業3450万円 多面的機能支払交付金2599万円など。

【林務観光課】自伐型林業推進業務委託料319万円 林業調査業務委託料1055万円 町有林造成事業545万円

事業

円 除間伐推進事業費1056万円 林道開設工事1700万円など。

【建設課】

町道維持工事3400万円 舗装補修工事3100万円 社会資本整備総合交付金事業（通学路対策）3900万円 単独改良事業費1億6550万円 公有財産購入費1296万円 保障補填、賠償金2148万円 道路メンテナンス事業委託料6400万円 道路メンテナンス工事費6100万円 町営住宅改修費500万円 災害工事土捨て場関連費2500万円など。

【現地調査】

1町道三本松千間線災害復旧工事（山出地内）、夏水水路災害応急本工事（山出地内）
2霊台橋歩道（霊台公園含）
3坂貫用水路整備工事



復旧工事現場（山出）

嘱託会との意見交換会開催!!

嘱託会からの質問、意見



① 少子高齢化対策について

Q

- ・ 子供の数が減少している。独身者の結婚の奨励縁結びの計画に工夫がほしい。
- ・ 結婚後、町内に住んでもらえるように、住宅の助成金や補助金の待遇を考えてほしい。
- ・ 若い人向けの町営住宅がほしい。
- ・ 子育て中の母親が合間に仕事ができる体制はとれないか。
- ・ 民間の力を活用して、住宅建設を促進したらどうか？

A

- ・ 広域連合で婚活相談やイベントを実施している。
- ・ 若い人の出会いの場が少ない。出会いの場として体験型のイベントの実施を。
- ・ 対策として、住む場所や仕事を考える必要がある。
- ・ 近隣の町では若い人向け住宅が建ち若者の定住が増えている。派遣労働者の待遇改善・結婚できる賃金など、包括的な対策を。
- ・ 住宅建設には農振地域の問題が絡む。令和6年度は農業振興地域の見直しがある。

② 空き家対策

Q

- ・ 空き家が益々増加している。子どもたちは県外に出てゆきふるさとの家は放置されている。行政と民間が一体となり解決ができるか？

A

- ・ 空き家を更地にすると固定資産税が上がるなどにより、解体をためらう人が多い。
- ・ 税、セメント解体費用などの環境整備が必要となる。

③ 耕作放棄地問題

Q

- ・ 放棄地が増加して、保育園の近くでも猪が出没する。行政と民間の協力で少しでも問題解決できるか。

A

- ・ 放棄地をなくすには、受け皿となる組織体を作っていく必要がある。
- ・ 週末の農業手伝いも、放棄地の解消に役立つのでは

ないか。

- ・ この4月から、農地法の改正で自由に農地が買えるようになる。

④ 企業誘致について

Q

- ・ 菊陽町の企業進出のニュースの様に、美里町にも工業団地を作るなど早急な対策が必要だ！

A

- ・ 議会は、執行部と一緒に誘致に努力する。
- ・ 美里町は熊本市内にも近く良好な立地条件である。

⑤ 移住・定住・地域問題について

Q

- ・ 美里町は、熊本市内に近いという良好な立地条件にある。田舎暮らしをしたい移住者もあると思う。上下水道の整備を急いでほしい。

A

- ・ 都会から田舎暮らしを希望して移住する人もある。まず、上下水道の整備を急がなくてはならない。
- ・ 移住・定住してもらうには生活基盤を確保する必要がある。農業関係では、法人組織を作ってそこで研修してもらい、そこから自立していく仕組み作りが必要である。
- ・ 町とJAがタイアップして農業公社を作るのはどうか。
- ・ 移住・定住者の方には地域の決まり事を理解してもらうことが大事になる。
- ・ 移住・定住者の受け入れには諸保険料が重荷になる。
- ・ 保育料の無料化、給食費の半額補助などしっかりPRすることも大事である。
- ・ 子育ての取り組みを、町のホームページで一覧にして一目でわかるようにする。
- ・ 窓口に、空き家対策・耕作放棄地対策・人口減少対策など町の状況を十分把握して対応できる人材が欲しい。

今後の取り組み

町内の各種団体等からの要望があれば、議会との意見交換会を計画していく。



こばり
小堀ハルエ (川越)

出会いと絆に感謝

私は、甲佐岳山麓に生まれ育ち生きて、やがて一世紀になります。この3月に白寿を迎えました。

戦前・戦中・戦後とは流れ、高度成長期、列島改造と国の政策によって暮らしにも多くのドラマがありました。その頃、婦人会が

主になり町に陳情して川越保育園が開園し3歳児からの保育が始まりました。僻地ならではの園外保育では

住み込みの保母さんと園児たちが元氣いっぱい野山を走り回り歌う姿が嬉しかったものです。今も、良い保育が出来たことを感謝し自負する思いがあります。彼らも今や子や孫があり、中学校長となった園児もあり

賢さよりも優しく思いやりのある人に育つ教育をしてほしいと思います。

やがて老人福祉の時代となり、私は家庭奉仕員として寝たきりの方の介助に保健師さんと一緒に訪問する事になりました。奉仕員は3名いましたが、自転車です

全村を回り家族の方とも親しくなり楽しい奉仕員時代でした。多くの人と出会い、楽しみも悲しみもたくさんありました。80歳から大正琴を習い琴の響きに癒され、文化祭に

も参加しました。現在は週に一度の社協デイサービスが一番の楽しみで、仲間と俳句づくりなどを楽しんでいます。

少子化時代になり、学童の姿も見かけない山里は寂しい春です。父祖よりの石垣棚田は米を作るのも大変な時代になりました。若者が住み暮らす町になるのはいつでしょうか。

小さな町が小さくてもキラリと光る町になるには、豊かな山並みに頼るほかないうちに思うこの頃です。



ひらかわ
平川 義光 (白石野)

文化を未来につなぐ

平成12年3月をもって定年を迎え、私は中央町白石野に帰郷しました。

若い頃から俳句に親しんできた私は、家財道具の整理等の多忙な合間を縫って「緑川俳句会」を立ち上げました。立ち上げには、年

禰中学時代の恩師であり俳句の同好の仲間でもある田村三溪(邦男)先生のご協力がありました。その後、三溪先生は、砥

用俳句会・永富俳句会をもつて、私は緑川俳句会をもつて、町内に俳句好きの輪を広め、「美里町を俳句の町に!」という共通の夢

頑張っています。

いつも前向き!

に向かつて歩き出しました。「美里町俳句協会」を結成し町内に分散する俳句同好者の絆を一本化しようと共に頑張りました。砥用ドームでの観月句会をしたのもこの頃です。しかし、会員の高齢化などで活動は先細りとなり夢は果たせな

いままとなりました。私は、文化の創造と継承は、町にとって大事な課題であると考えています。町の文化活動の組織の一つである「野生の会」にも長く

参加していますが、地域の伝統文化を次代に継承する事の大切さと難しさを実感しています。町内の様々な文化財の保護や文化活動の活性化のためには、行政の理解と支援が必要です。文化の薫り高いまち作りを期待してやみません。

私も八十路ながら、まだまだ持てる力を尽くして「美里町俳句協会」の復活をと願ってやまない今日の頃です。

編集後記

新緑が濃くなり良い季節になりました。

令和5年度も始まり、コロナ感染症の分類も引き下げられ、少しずつあります。3年近い不自由な生活や縮小や中止された行事等、どの様に向き合い取り戻していくのか少し心配する事でもあります。『新しい景色』サッカーのワールドカップで言われたフレイズ。野球のWBCでは『世界一奪還』の合言葉。美里町においても新たなステージへの挑戦、チーム美里で『美里・新時代』を皆さんとともに歩む議会を目指し今後

も活動したいと思っています。(濱田)

議会広報委員

委員長	行政子
委員	田千一
副委員長	高美公
副委員	村崎
委員	濱田
委員	坂田
委員	隈部
委員	上田
発行責任者	孝

お知らせ

◆次回定例会6月です。傍聴においで下さい。

お問い合わせ

議会事務局
46-2111(内線600)

